



2019.3.30 VOL.130

茨城県PTA連絡協議会

〒310-0011 茨城県水戸市三の丸1丁目5番38号
電話：029-227-4779 FAX：029-231-3878
E-mail：webmaster@ibarakiken-pta.ne.jp
ホームページ：http://www.ibarakiken-pta.ne.jp
編集：同 広報委員会

もくじ

- 1 表紙
- 2 茨城県PTA 発足 70 周年記念式典
- 3-4 各地区の指導者研修会活動報告
- 5 広報紙の作り方研修会
- 6 県内ホッと情報
- 7 学校統合に統合に関するPTAのアンケート結果
- 8 (一社)茨城県PTA安全互助会からのお知らせ
編集後記



祝！茨城県PTA 発足 70 周年！！この熱気を受け継いで、
新たな歴史を作るのは、私たち一人ひとりの役割です。
茨P連定期総会は5月26日（日）笠間公民館
全員参加で茨城を盛り上げよう！



茨城県PTA発足70周年記念振興大会

平成30年11月17日(土)、晩秋の澄み切った青空の下、茨城県PTA発足70周年記念振興大会が日立市池の川さくらアリーナにて開催されました。

オープニングは、日立市立久慈中学校の生徒総勢110名による黒潮太鼓と久慈中ソーランが、迫力の舞とともに華々しく披露されました。

講演会は、昨年の大会にもご出演いただいた放浪の合唱作曲家、弓削田健介さんによる「いのちと夢のコンサート」でした。



熱唱する弓削田健介さん



小野寺副知事から表彰される佐藤顧問

人生の素晴らしさ、そしてはかなさをうたった弓削田さんの透き通る歌声は、あらゆる世代の人たちの心に染み入るものでした。

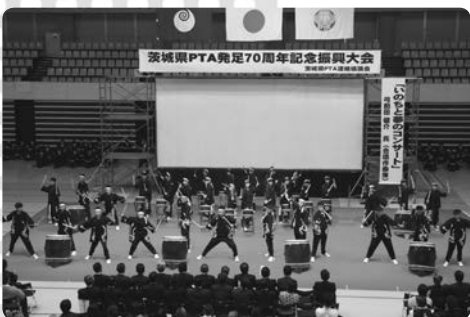
末期の癌患者の方とのやりとりの一節では、「人生は夏休みのようなもの」とのくだりがあり、人生を深く考えさせられました。

講演会は、事前にその素晴らしさを伝えられないもどかしさがあります。もし身近に今回の講演会の参加者がいらっしゃいましたら、その方の生の感想をお聞きいただき関心を持っていたければ幸いです。よろしければ、弓削田さんの公式ホームページから、最新の情報にアクセスください。

<https://yugemusic.com>

最後に、大会運営にご尽力いただいた関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

広報委員 高木 貴之



日立市立久慈中による黒潮太鼓



茨城県PTA発足70周年記念振興大会表彰式典・祝賀会

平成30年12月8日(土) ホテルレイクビュー水戸において、「茨城県PTA発足70周年記念振興大会表彰式典・祝賀会」が開催されました。発足70周年ということもあり特別に、茨城



70周年を祝う山本会長と来賓の皆様

県知事からの感謝状を5名、茨城県教育長からの感謝状を27名の方が受賞され、延べ48団体228名の方が受賞されました。また「愛の記録」入賞者坂野徹也さんによる朗読をいただき、盛大な式典となりました。

引き続き催された祝賀会では、緊張の解けた皆さんと、気さくに写真撮影に応じてくださった、大井川県知事のさわやかな笑顔が印象的でした。皆様おめでとうございます。

広報委員 下条 力男



報告 各地区の指導者研修会活動報告

中央地区

平成30年度の中央地区3ブロック指導者研修会は、常磐大学体育館にて各单位PTAより430名もの多くの方々のご参加をいただき、開催しました。基調講演では、講師に元茨城大学准教授で茨城県生涯学習・社会教育研究会会長である長谷川幸介先生をお招きし、「人間ってすごい!でも、子どもって、もっとすごい!」をテーマにした講演をいただきました。先生は独特のユーモアを交えた教育論を展開され、会場は終始笑いに包まれ、また真剣にメモを取る姿も見られました。さらに、その後8分科



長谷川幸介先生(右)



活発な分科会の様子

会に分かれ、活発な議論や意見が交わされ盛会のうちに終了することができました。ご参加の皆様にとりまして、実りの多い研修会になりました。

結びに、研修会の開催にあたり、ご尽力いただきました事務局及び担当校並びに役員の皆様に心より感謝申し上げます。

県北地区

平成30年9月22日(土)久慈サンピアひたちにおいて、200名の参加を得て、二部構成で開催しました。前半は、水戸女子高等学校の理事長・校長の鈴木康之先生より、「子どもたちの未来と私たちの使命」を演題に、「子どもたちの今と私たちの使命」、「教育の課題と私たちの使命」、「豊かな心と生きる力」について、ご講演をいただきました。特に「人は死んでも命は続く」のお話の中で、



鈴木康之先生

「今の子育ての結果は、次の世代へと繋がり、その子が子を産んで育てる時に影響がでる」については、とても衝撃的であり、多くの参加者が自分の子育てへの責任につて考えさせられた講演会でした。後半



グループディスカッションの様子

は、参加者が8グループに分かれ、テーマである「私たちが創るPTA」の中で、「役員選出」、「年間行事」についてグループディスカッションを行いました。限られた時間にも関わらず、各グループ内で活発な意見が交わされ、参加者の一人ひとりが「私たちが創るPTA」の意識の高揚を図る良い機会となり、指導者としての資質の向上に繋がったグループディスカッションとなりました。



県東地区

平成30年11月9日(土)茨城県鹿行生涯学習センター・茨城県女性プラザにて、参加者259名で開催しました。

「ひらけ! ポンキッキ」8代目おねえさん・鈴木もえみ氏のさわやかな語り口調で始まった指導者研修会は明るさと温かな雰囲気に入れられ、笑顔とともに時には涙する顔が見られました。鈴木氏には、「ひらけ! ポンキッキ」での経験にご自身の子育ての経験も加え、コミュニケーションの大切さとポイントを分かりやすくお話いただきました。ご自身もお好きと語られる作品、斎藤隆介氏の「花さき山」について語っていただきました。参加者からは、「講師・内容ともに素晴らしく再度聴きたい!」といった感想が多数あり、主催者としては嬉しい限りでした。



鈴木もえみ氏



熱心に聴き入る参加者

分科会では、各市P連の会長に「所属市P連の分科会参加と積極的な発言」をお願いしたことから活発な協議がなされました。

県東P連担当の第7分科会では、県メディア教育指導員を講師とし、かるたを作りながら「ネット利用と危険性」について理解を深める機会となり盛況のうちに閉会の時を迎えました。

県東P連発足20年目となる本年度、各市P連会長始め、発表校PTAの積極的な協力を得て例年よりも活性化された研修会になったのではないかと自負しております。

県南地区

平成30年8月4日(土)市民ホールやたべにおいて、518名の参加を得て開催しました。アトラクションとして、つくば市立谷田部中学校吹奏楽部員53名による素晴らしい演奏により研修会を盛り上げていただきました。開会行事に続き、国立大学法人鳴門教育大学教授阿形恒秀先生より「大人が子どものいじめに関わる難しさと大切さ」と題しての講演をいただきました。いじめ問題の根本的な内容を盛り込み、基本家庭での子どもとの関わりが大切であり、子どもの安心基地となることの必要性を示していただくなど、感動的で有意義な講演となりました。



取手市立戸頭小学校PTAの実践発表

その後、石岡市立石岡中学校PTAより「新石岡中学校の誕生」として統合に向けた取組が、続いて、つくば市立二の宮小学校PTAより「ボランティアで支える児童のはぐくみ」、美浦村立木原小学校PTAより「地域との繋がりを重視したPTA活動の取り組み～キッズカンパニーの活動を通して～」、取手市立戸頭中学校PTAより「チーム戸頭、和が大切です!～学校とPTAの連携～」と題して、それぞれ実践発表がなされ、茨城県県南教育事務所主任社会教育主事の若山隆男先生より、発表に関する指導講評をいただきました。多くの会員の参加により、充実した指導者研修会となりました。



石岡市立石岡中学校PTAの取組発表



県西地区

平成30年10月8日(月・祝)、結城市民文化センターアクロスにおいて1,100名の参加を得て開催しました。講師に俳優の渡辺徹氏をお招きし、「夢の実現に向けて」の演題でご講演をいただきました。

県西地区PTA指導者研修会は「PTAが社会教育関係団体として指導的役割を果たしている者を対象に、PTA活動の在り方について研究討議し、指導者としての資質の向上を図る」ことを目的として開催しています。そのためにはPTA会員が自ら学ぶことが重要になります。



大勢集まった参加者



渡辺徹氏

今年度も県西P連として、10月の指導者研修会全体会、各市町P連主管による3つの分科会、女ネット研修会(特別分科会)と合計5つの研修会を開催しました。

それぞれの分科会、研修会では、各主管PTAの皆様がより良い研修会にするために真剣に協議を重ね、素晴らしい研修会を開催することができました。ご尽力いただきました皆様に感謝しております。ありがとうございました。

案内 広報紙の作り方研修会

開催日	2019年6月4日(火)	2019年6月11日(火)
主催	茨城県PTA連絡協議会	
開催場所	中央地区 茨城県水戸生涯学習センター	県西地区 茨城県県西生涯学習センター
内容	広報紙の企画・取材、原稿の書き方、写真の撮り方、紙面の割り付け方など事例を取り上げ、初心者の方でも分かりやすい研修になっています。また、これまでに広報委員を経験している方は、ワンランク上の研修にもなります。	
講師	坂場 安男 氏 元茨城県新聞教育研究会会長、 元茨城県立石崎小学校校長	
申込	4月に案内文を発送します。 申込用紙にて、郵送またはFAXで送信して下さい。	



坂場先生による広報紙研修会の様子



県内 ホット情報 挨拶運動で学校・家庭・地域の連携強化 中央地区



元気な声が響く挨拶運動

今年度から登校時間に保護者と生徒、そして先生方が一緒になって挨拶運動を行い、活気ある学校づくりと子どもたちの見守りをはじめました。この事業の発足にあたり、多くの保護者の協力を得るため、PTA運営委員会で慎重に議論を重ねて承認をいただきました。そして、年度内に全家庭が参加できるように、1日8～9家庭の割合で計画しました。せっかく始めるのであれば楽しく参加できるようにと考え、横断幕やのぼり旗を作成しました。その作成には茨城県PTA安全互助会安全普及啓

発活動事業の助成金を活用させていただきました。各家庭の事情もありますので、無理のない範囲での参加を呼びかけましたが、参加した保護者からは、「来てよかった」、「楽しかったです」と言ってもらえています。

この事業を通して、地域で子どもたちを見守る体制づくりをし、学校と家庭との連携が強くなり、よりよい学校づくりにつながればよいと期待しております。

東海村立東海中学校PTA会長 佐藤 健太郎



横断幕とのぼり旗で一致団結！

県内 ホット情報 自分たちの手で美しい環境を 県西地区



除草作業に汗を流す保護者・生徒

八千代町立八千代第一中学校（栃木孝行校長）では、毎年PTA活動の一環として環境整備活動を春から秋にかけて、毎月（計5回）行っています。たくさんの花や木々がある広大な敷地は学校の自慢のひとつです。しかし、それらを美しく維持していくのは大変なことです。そこで八千代一中では、伝統的に毎年全保護者が休日に交代で除草作業

や剪定作業を行っています。さらに、数年前からは生徒も部活動毎に参加するようになりました。「自分たちの過ごす空間を自分たちできれいにする。」今では当たり前のように当たり前に前でなくなっているのかも知れません。働く大人の姿を子どもたちにみせ、共に働くことで子どもたちの美しい心も育つのではないかと感じています。

八千代町立八千代第一中学校 PTA会長 松村 賢司



自主的に作業する生徒たち



報告

学校統合に関するPTAのアンケート結果

現在、一部の地域では住民の増加により小中学校の新設もありますが、多くの地域では少子化に伴い小中学校の統廃合が増えています。今回は、茨城県PTAとして小中学校の統合をした学校に依頼して、アンケートを実施しました。今回はその一部を掲載させていただきます。ご協力をいただき、ありがとうございました。

統合タイプ	【廃止新設】 小中学校1校ずつを廃止し、義務教育学校を新設した。	【廃止統合】 小学校1校を廃止し、既存の小学校に統合した。
統合に要した期間	7か月	4年
組織面の統合	【規約の決め方】 一貫校となる前の元の小学校PTA会長が、両校の規約を隅々まで読み込んだ上でたたき台を作成し、検討会メンバー（学校・PTA代表）で徹底した議論を行って決定した。 【本部役員の決め方】 協議開始当初から、小学校の会長がそのまま新設校の会長になることが既定路線であったため、小学校で行っていた方法（地区別に候補者選出し、役員選考会で役職を決定）を踏襲した。	統合校の各本部役員同士での話し合いを繰り返した。 学校ごとの規約や役員の選出方法を話し合い、規約等の見直しを行った。
統合後のPTA事業計画策定で苦労したこと	小学校の児童がそのまま中学校へ上がるような小規模校であり、元々両校の年間事業に大差がなかったため、義務教育学校である点を考慮した調整のみで済んだ。	統合後の事業計画に沿って策定したので、苦労はなかった。
統合にあたって会費面での変更有無	PTA会費については、将来に渡っての児童生徒及びPTA会員数を綿密にシミュレーションし、事業全体の支出予定額から一人あたりの単価を算出した。ただし、安易に低額な設定とせず、近い将来に値上げを予定することは避けるため、月額で50～100円の値上げとした。	統合前の学校では、PTA会員だけでは不足する分を、地域の方々に協力してもらっていた（統合する小規模学校側の小学校） 統合後は、PTA会員だけで十分であったため、地域の協力はなくなった。
地域とのすり合わせ	義務教育学校化への議論が、地域側からの要望で始まった経緯があるため、すり合わせの必要はほとんど生じなかった。唯一挙げるとすれば、母体となった小中学校の学区が、一部地域で異なっていたため、その地域住民に対して、学区統一の理解を取り付ける必要性が生じた。	閉校についての説明は、各支部員より各地区に伝えられた。 閉校式については、学校を開放し、地域の方々が多数来校された。
今後統合を予定しているPTAへのアドバイス	【統合の場合】 統合前の各学校それぞれの良い点を洗い出し、一番スムーズなPTA活動が行われている学校をベースにした検討を行うのが良いと思われる。 【義務教育学校へ移行の場合】 年間行事の策定にあっては、部活動の大会等を考慮した事業策定をする必要があるため、中学校側の教師・保護者を中心とした方がスムーズに運ぶと思われる。	特になし。



一般社団法人茨城県PTA安全互助会からのお知らせ

安全普及啓発活動事業についてご利用してみませんか？

I. 健康・安全教育支援事業の助成

◆助成対象事業

- ・健康・安全に関する講習会の開催及びパンフレット等の作成（例 交通安全、インターネット安全利用等）
- ・通学路の安全確保に関する活動（例 登下校指導に関わる講習会、啓発グッズ作成費の助成等）
- ・救急救命に関する講習会等の開催（例 普通救急救命講習会、AED使用法講習会等）

◆支援補助額：1件の上限額10万円

◆ポスターを作成しました。

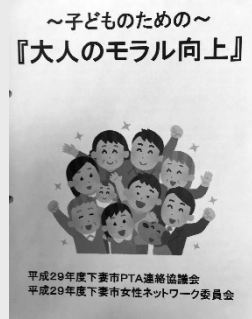
安全普及啓発活動を紹介するポスターを作成しましたので、各单位PTAには4月になってからの配布となります。PTA室等へ掲示していただいて、会合等で話題に出していただければ幸いです。

【健康・安全教育支援事業のこれまでの事例】

下妻市PTA連絡協議会への助成事例（平成29年度事業）

子どもたちのモラル向上へ向けての冊子の作成

日常生活でのたばこのポイ捨てや学校行事へ参加する中でも大人の自分勝手な振る舞いが目立ってきた。そこで、本来は子どもたちのお手本となるべき大人が、もう少し襟を正し子どもたちの健全育成のために、お手本となる行動を心がけようということで、下妻市教育懇談会にて「大人のモラル向上について」をテーマに懇談会を実施した。そのときの結果を冊子「大人のモラル向上」～子どもから見ての～にまとめ各家庭に配布することで、家庭での話題に取り上げて子どもたちの心身ともに健康で健全な子どもの成長につなげる。



東海村立東海中学校PTA活動への助成事例（平成30年度事業） 安全・さわやか・親子あいさつ運動

朝の登校時に、保護者と教職員さらに生徒と一緒に大きな声であいさつ運動を行ない交通安全への啓発に努めるとともにさわやかな一日の第一歩を踏み出し公共心と社会性、健康な心身の醸成を目指す。また、親と子の絆、学校と地域とのつながりを深め、学校・家庭・地域で生徒を見守る環境を整える。そこで、「横断幕」「タスキ」「のぼり」を作成し保護者、生徒、地域に本運動のねらいを周知し、活発な運動へとつなげていく。

※安全普及啓発活動の助成に関する申請様式は、ホームページに掲載しております。1月末までに申請してください。

II. 今年度の共済金給付状況について

平成31年2月末現在における給付状況については下記のとおりです。

- ・共済金 104件
- ・香料見舞金 113件
- ・眼鏡見舞金 1件
- ・賠償見舞金 7件



※会員の皆様へのお願い

今年度におきましても特にソフトバレーボール等の球技大会による負傷事故が発生しております。準備運動で十分に体をほぐしてから競技にのぞみましょう。

編集後記

今年度は70周年記念事業もあり、広報委員の皆様や関係者の皆様には、公私ともにお忙しい中、取材・出筆にご協力いただきました。心より感謝申し上げます。

今回は統廃合に関するアンケートを実施しましたが、今後ともPTA会員の皆様にとって有意義な情報を掲載していきたいと思っておりますので、引き続き取材等へのご協力をお願いいたします。

(茨P連広報委員長 畠山 佳樹)